

一般 日本考古学協会第 83 回総会の開催 社団法人

大正大学を会場として日本考古学協会第 83 回（2017 年度）総会が開催されますので、ふるってご参加下さい。

（詳しくは日本考古学協会ホームページ参照 <http://archaeology.jp/>）

開催日 2017 年 5 月 27 日（土）・28 日（日）

会場：大正大学西巣鴨キャンパス

主催：一般社団法人日本考古学協会・日本考古学協会第 83 回総会実行委員会（実行委員長・御堂島正）

◆ 5 月 27 日（土） 会場：大正大学礼拝堂（8 号館）

□公開講演会 14 時 00 分～15 時 00 分

「斎藤忠と日本考古学史」 坂詰 秀一氏（立正大学名誉教授・元大正大学講師）

□セッション 1 15 時 10 分～17 時 20 分

「日本考古学における学史の継承と展開—斎藤忠の遺した研究課題を中心に—」

塚田良道「趣旨説明」

伊藤宏之「日中韓の石造宝篋印塔」

田中広明「日本の古代遺跡と震災」

黒澤彰哉「古典と考古学—『常陸国風土記』を中心に—」

谷藤保彦「中世寺院遺跡における仏教」

澁谷昌彦「斎藤忠コレクションと考古学史研究」

◆ 5 月 28 日（日）

□研究発表会・セッション 午前：10 時 00 分～12 時 30 分 午後：14 時 15 分～16 時 30 分前後

第 1 会場：7 号館 741 教室 旧石器～弥生時代の個別研究発表

第 2 会場：5 号館 531 教室 弥生時代～近世 //

第 3 会場：7 号館 742 教室 海外の考古学 //

第 4 会場：7 号館 755 教室 午前「パプアニューギニア民族誌研究から縄文土器型式の成立をさぐる」
午後「白保竿根田原洞窟遺跡の調査と研究」

第 5 会場：7 号館 731 教室 午前「水中文化遺産と考古学—その動向と展望—」
午後「日本考古学の国際化—意味・意義・方法—」

第 6 会場：7 号館 711 教室 午前「平成 28 年熊本地震による文化財被害とその復興が抱える諸問題」

□ポスターセッション 7 号館 2・3 階 階段ホール 10 時 00 分～16 時 30 分

□高校生ポスターセッション 7 号館 4 階 階段ホール 10 時 00 分～16 時 30 分

□図書交換会 5 号館 5 階、7 号館 5・6 階 10 時 00 分～15 時 30 分

■ 企画展「手紙から見た日本考古学史—斎藤忠所蔵資料から—」

日時：5 月 27 日（土）12:00～18:00 5 月 28 日（日）9:00～16:30 会場：5 号館 533 教室

公開講演会とセッション 1 の関連事業として、大正大学が寄贈を受けた名誉教授故斎藤忠先生の所蔵資料の一部を公開。考古学と埋蔵文化財保護の歴史を戦前～戦後の考古学者の手紙から紹介。実行委員会主催事業。